2018 年 2 月 27 日

PhillipCapital
Your Partner In Finance

フィリップ証券株式会社

クルン・タイ銀行（KTBn）

2018 年は経済回復に伴い、貸出残高が前期比 6-7%増の見通し

タイ | 銀行| 業績フォロー

BLOOMBERG KTB:TB | REUTERS KTB.BK

- 2017/12 通期は営業収益が前期比 1.2%減の 1,231.53 億 THB、引当金控除前純利益は同 0.4%減の 737.46 億 THB、純利益は同 30.5%減の 292.19 億 THB となった。
- 最低貸出金利（MRR）が 0.5%引き下げられたことにより純金利マージン（NIM）が低下。ATM カード手数料や電子決済サービス、バンカシュランスなどが伸び手数料収入は増加。
- 同社の 2018 年のタイの経済成長率見通しは 4.1%。2018/12 通期の会社計画は、貸出残高が前期比 6-7%増、手数料収入が 4-6%増。

What is the news?

2017/12 通期は営業収益が前期比 1.2%減の 1,231.53 億 THB、引当金控除前純利益は同 0.4%減の 737.46 億 THB、純利益は同 30.5%減の 292.19 億 THB となった。純利息収益は、同 1.4%減の 857.77 億 THB となった。2017 年中旬に最低貸出金利（MRR）が 0.5%引き下げられたことにより純金利マージン（NIM）が低下。前年同期から 7bp 低下し 3.23%となったことが影響し減少した。一方、非金利収益は前年同期比 9.0%増の 240.21 億 THB となった。ATM カード手数料や電子決済サービス、バンカシュランス（銀行による保険販売）が拡大したことで、受取手数料が同 10.4%増の 286.38 億 THB と伸びたことが寄与した。営業費用は同 2.4%減の 494.07 億 THB と減少し、経費率が 40.1%と 2016/12 期の 40.6%から改善した。その他、IFRS 第 9 号適用へ向けた引当金計上が生じたため、引当金繰入額が同 34.1%増の 114.04 億 THB となった。

貸出残高は前年同期比 1.8%増の 1 兆 9,380 億 THB。預金残高が同 5.0%増の 2 兆 708 億 THB と順調に拡大。LDR（預金残高に対する貸出比率）は 93.6%と前年同期の 96.5%から改善。貸出先の構成は企業向けが 36%、個人向けが 38%、中小・零細企業向けが 19%、中央政府・地方自治体向けが 7%である。不良債権比率（ネット）は 2017/12 末で 1.77%と前年同期の 1.81%から改善。カバレッジレシオも 121.71%と同 121.57%から改善。支店数は 2017/12 末で前期比 92 店減の 1,121、ATM 数も同 123 台減の 8,726 台と、支店網は若干縮小した。

How do we view this?

同社は、2018 年の経済成長率の見通しを 4.1%としている。2018/12 通期の会社計画は、貸出残高が前期比 6-7%増、手数料収入が 4-6%増である。2018/12 通期の市場予想は、当期利益が同 14.7%増の 38.87 億 THB である。2/19 に発表されたタイの 2017 年の実質 GDP は前年比 3.9%増と、過去 5 年間で最も高い伸びとなった。経済回復に伴い、企業の資金需要の拡大が期待される。

業績推移　※参考レート 1THB=3.41円

事業年度	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12F	2019/12F
当期利益（百万THB）	28,493	32,283	22,445	29,219	34,085
EPS（THB）	2.04	2.31	1.61	2.09	2.44
PER（倍）	9.75	8.61	12.36	9.52	8.16
BPS（THB）	17.59	19.60	20.60	21.92	23.49
PBR（倍）	1.13	1.02	0.97	0.91	0.85
配当（THB）	0.76	0.86	-	0.83	0.97
配当利回り（%）	3.82	4.32	-	4.17	4.87

（※）データは直近値、FはBloomberg集計による市場予想

配当予想（THB）	0.83	（予想はBloomberg）
終値（THB）	19.90	2018/2/26

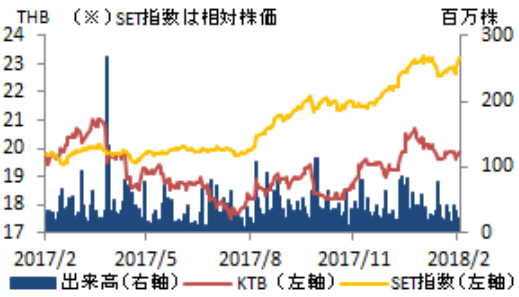
会社概要

1966年にカセット銀行とモンタナ銀行の2つの国有銀行の合併により設立。4大銀行唯一の国営銀行として政府の景気刺激策の一翼も担っているハイブリッド銀行である。タイ国内の全ての州に支店を展開し、準備基金運用、外為業務、国際貿易金融サービスのほか、法人・個人向け サービス、クレジットカード、モーゲージローンも提供している。

1987年に中央銀行であるタイ銀行が、経済危機からの回復に向け策定した「4月4日キャンペーン」で、サイアム銀行の資産・負債が割り当てを受けたことで、資産規模が国内第2位となった。1989年には、タイ証券取引所に国営企業として初めて上場。経済的、社会的、環境的発展を支援することによって、社会への責任を果たすことを企業ミッションの1つとしており、2004年のスマトラ沖地震で被害を受けたすべての顧客に対して、直接的・間接的な支援策を提示し、1億THBの寄付金を拠出した。

企業データ（2017/2/27）

ベータ値	0.98
時価総額（百万THB）	278,124
企業価値=EV（百万THB）	-
3ヵ月平均売買代金（百万THB）	739.96



（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

主要株主（2018/2）

	（%）
1.Financial Institutions Dev	55.07
2.Stock Exchange of Thailand	6.80
3.State Street Corp	3.24

（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

アナリスト

増渕 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

hiroki.ihara@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

PhillipCapital
Your Partner In Finance

【レポートにおける免責・注意事項】
本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103―0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号
TEL:03-3666-2101 URL：http：//www.phillip.co.jp/
本レポートの作成者：フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹
公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増渕 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項＞
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。